３年学年通信“poco a poco” No. ３０　Ｒ２．６．２４

♪３年生になって　生徒作文

実感がない

四月は本来なら「進級おめでとう～！！」となっていたはずなのにまともに学校に行けず三年生になってしまいました。自粛期間中は本当に暇で退屈でした。受験生という自覚がなかったので勉強にも力が入らずにただただボーッとしている日々が続いていました。

ようやく学校に来る回数が増え、授業をするようになりましたが、クラスの半分の人の姿しか見ていないので、少しまだ実感がないです。授業は二年生の残りだし、クラスが変わった。くらいしか大きく変わったことはありません。

中学校生活最後の三年生。楽しみにしていた体育大会、文化発表会、修学旅行がなくなり、一年もこのクラスで過ごせず、あげくの果てには部活の総体までなくなり、つらいつらい受験、勉強だけ残っているという本当にこれこそ最悪です。ただでさえ勉強が嫌いなのにもっと嫌になる予感しかしません。自分でいい息抜きの方法を早く見つけないと。と思いました。

新型コロナウイルスという厄介すぎる害をできるだけ受け入れて、何事にも前向きに、ポジティブに、時には腹が立つけど頑張ろうと思いました。前代未聞の異常事態だけどこの残された三年生という短い時間を記憶にハッキリと残る、楽しかったなと言い合える一年にしたいと思いました。また、一年間で自分自身、学力はもちろん。人間性、社会性などさまざまな場面で成長していけるよう積極的に頑張ろうと思いました。　１組

中学生になって、受験なんかまだまだ先の話だろうと思っていたら、１年、２年、とすぐに３年生になってしまいました。なぜ、こんなに１年間というものは早いのだろう、と疑問を持つほどです。まだ、３年生になってからの登校日が少ないので、３年生になったという自覚が足りません。学校でみかける３年生は遠い存在と思っていたので、３年生になった自覚はないのですが、人生で、中学３年生がどれだけ大事かは、ある程度理解して

います。人生の分かれ道とも言われる、受験は来年の１月から行われるので、とてもプレッシャーを感じています。プレッシャーを感じているのは、もちろん僕だけじゃないはずです。受験はこれまでにしたことのない位の努力が必要だと自覚しています。

３年生になったという事は、松崎中学校で行う行事も最後ということです。ですが、今は落ち着いてきましたが、新型コロナウイルスの影響で、文化発表会、体育大会、そして延期していた修学旅行がなくなってしまいました。そして夏休みも少なくなってしまいました。これは仕方がない事だと分かっていますが、少し悲しいです。

僕は、おばあちゃんが一緒の家に住んでいるので、家にコロナウイルスを持ち込まないように気をつけています。これから、受験に向けて、頑張らないといけないし、もしかしたら新型コロナウイルスの第２波が来るかもしれないので、体調は崩さないように気をつけようと思います。

総合体育大会がなくなったと聞いてほんの少しだけ悲しかったです。皆、総体を楽しみにして、部活と勉強を両立して頑張ってきてたのに総体がなくなってショックだと思います。

僕が３年生は遠い存在だと思っていたように、僕も他学年から遠い存在だと思われるようになりたいです。３年生は、テストの量も多いし、頑張らないといけない事がたくさんあるので、あと１年間頑張ろうと思います。　　１組

＊今日は松崎中学校の創立記念日です。

学年目標　「五つの心」

一「ハイ」という素直な心

二「すみません」という反省の心

三「おかげさまで」という謙虚な心

四「私がします」という奉仕の心

五「ありがとう」という感謝の心